



2025 年 6 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード：186A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

2025 年 4 月期 通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 4 月 22 日に公表いたしました 2025 年 4 月期通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025 年 4 月期 通期連結業績予想値と実績値との差異 (2024 年 5 月 1 日～2025 年 4 月 30 日)

	プロジェクト 収益(※)	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,500	百万円 2,300	百万円 △19,500	百万円 △22,500	百万円 △22,500	百万円 △22,500	円 銭 △197.22
今回実績 (B)	6,088	2,456	△18,755	△21,550	△21,551	△21,551	△188.91
増減額 (B-A)	+588	+156	+744	+949	+948	+948	
増減率(%)	+10.7	+6.8	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024 年 4 月期)	4,667	2,852	△11,555	△9,219	△9,181	△9,181	△101.45

2. 差異発生理由

2025 年 4 月期連結会計年度における実績値は、いずれも 2025 年 4 月 22 日に開示いたしました連結業績予想を上回りました。

プロジェクト収益につきましては、補助金案件（APS-R 及び ISSA-J1）におけるサプライヤの納入遅延が想定よりも早期に解消されたこと及び一部案件のプロジェクト進捗を主な理由として、予想を上回りました。

販売費及び一般管理費（研究開発費）につきましては、上記プロジェクト収益の上振れ要因となった想定以上のプロジェクト進捗により補助金案件（APS-R 及び ISSA-J1）の開発費用が増加した一方で、未受注案件 LEXI-P に係る先行開発費用を抑制したことにより、全体として想定を下回りました。また、販売費及び一般管理費（その他）につきましては、全社的なコスト管理の徹底により、想定よりも費用を抑制することができました。

なお、期末時点の為替レートが想定より円安で着地したため、外貨建現預金及び当社連結子会社に対する外貨建貸付金の評価替えにより生じた為替差損は 2,180 百万円（予想は約 2,300 百万円）となりました。

以上の結果、各段階損失は予想を上回る着地となりました。

なお、個別業績の詳細につきましては、「個別業績における営業外費用及び特別損失の計上、個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください

(※) 当社グループは、国際会計基準（IFRS）により規定された指標ではなく、投資家が当社グループの業績を評価する上で当社が有用と考える財務指標として、プロジェクト収益（売上収益＋政府補助金収入）を開示しております。この数値は、当社グループが提供するサービスの対価として取得する政府補助金収入を売上収益に加算して算出しており、分析手段として重要な制限があることから、IFRS に準拠して表示された他の指標の代替的指標として考慮されるべきではありません。当社グループにおけるこの数値は、同業他社の同指標あるいは類似の指標とは算定方法が異なるために、他社における指標とは比較可能でない場合があります、その結果、有用性が減少する可能性があります。

以上